

Syllabus Id	syl.-110-326
Subject Id	sub.-110-115753
更新履歴	1100509第3版
授業科目名	工業外国語 I (Technical English I)
担当教員名	小林隆志ほか(機械工学科全教員) Takashi Kobayashi et al.
対象クラス	機械工学科5年生
単位数	1履修単位
必修/選択	選択
開講時期	前期
授業区分	
授業形態	演習
実施場所	機械工学科M5HR, 機械工学科コンピュータ演習室, 総合情報センター第2演習室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

近年、企業活動の国際化によって、英語文書の読解能力が技術者に求められている。また、技術者が海外で業務を行ったり、海外の技術者と共同で業務を行うことも多くなってきているので、国際語としての英語によるコミュニケーション能力を身に付けることが求められている。

この授業では、多くの企業でコミュニケーション能力の評価に用いられているTOEICを題材として取り上げて、TOEIC試験で要求されるリスニング能力、リーディング能力および読解能力を向上させ、技術者として必要な英語力を向上させることを目標としている。英語の総合的な能力を向上させるためには、継続的な自学自習が必要であるので、コンピュータソフトおよびウェブ教材の利用を奨励し、各自の学習への取り組みを成績評価に取り入れる。クラスを2グループに分けた少人数教育が特徴である。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英文法基礎、英文解釈基礎

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D.コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. TOEIC試験の内容を理解し、試験で要求されている内容を説明できる。
2. 日常生活の中で使われる英語を聞いて、内容を的確に判断できる。(リスニング能力)
3. 基本的な英文法を理解し、正しい英文を完成できる。(リーディング能力 I)
4. 英語による文章を読み、内容を的確に判断できる。(リーディング能力 II)
5. 語学力向上のための自学自習が継続できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません)

回	日付	メインテーマ	サブテーマ				参観
第1回	4/7	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明ならびに班分け。				
			1班		2班		
第2回	4/14	TOEIC模試	No.1~100(Listening)	M5HR	No.101~152(Reading)	4F演習室	
第3回	4/21		No.101~152(Reading)	4F演習室	No.153~200(Reading)	情報センター	
第4回	4/28		No.153~200(Reading)	情報センター	No.1~100(Listening)	M5HR	
第5回	5/12	スキルアップ トレーニング	TOEIC模試	M5HR	TOEIC試験対策	4F演習室	
第6回	5/19		TOEIC試験対策	4F演習室	Web ラーニング	情報センター	
第7回	5/26		Web ラーニング	情報センター	TOEIC模試	M5HR	
第8回	6/9	学習状況の確認	学習進捗状況の確認・模試またはスキルアップトレーニング				
第9回	6/16	スキルアップ トレーニング	TOEIC模試	M5HR	TOEIC試験対策	4F演習室	
第10回	6/23		TOEIC試験対策	4F演習室	Web ラーニング	情報センター	
第11回	6/30		Web ラーニング	情報センター	TOEIC模試	M5HR	
第12回	7/7	学習状況の確認	学習進捗状況の確認・模試またはスキルアップトレーニング				
第13回	7/14	評価試験	達成度評価試験				
第14回	7/21						
第15回	9/29	まとめ	総括・授業アンケート				

課題

1. 提出物
「学習の記録」(学習の取り組みを記録し、担当教員の確認を受ける。)
2. 提出期限

その都度指定

3. 提出場所: 統括責任教員

4. オフィスアワー: 月～金の放課後から17:00まで。

評価方法と基準

評価方法:

- (1) 授業目標1.については、試験(筆答試験または口頭試問)により評価する。
- (2) 授業目標2.～4.については、達成度評価試験により評価する。
- (3) 授業目標5.については、各自の「学習の記録」により評価する。

評価基準:

授業目標1.についての試験10%、授業目標2.～4.についての達成度評価試験50%、授業目標5.についての学習の記録40%の割合で評価を行なう。
60点以上を合格とする。

教科書等	TOEIC奪取470&630, ALC NetAcademy 2, COCET3300, プリント
先修科目	総合英語A・文学特論
関連サイトのURL	https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/anet2/
授業アンケートへの対応	授業の目標や位置付けなどについてガイダンスにおいて十分に周知するとともに、学習意欲を引き出すように試みる。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。